

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ-1	単位 (授業時間/時間数)	1 (10/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	5回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

1. 活動の意義と必要性を理解し、体位及び体位変換(移動動作)の看護技術を習得する。
2. 睡眠・休息の意義と必要性を理解し、安楽・安眠への看護の為の看護技術を習得する。

授業目標

1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解できる。
2. さまざまな体位とその目的を理解し、体位変換の援助を実施できる。
3. 車椅子・ストレッチャーについて移乗の援助と移送の援助を理解し実施できる。
4. 睡眠と睡眠障害、睡眠に障害をもつ患者への具体的な援助が理解できる。

授業概要

1. 活動・運動の意義
2. 活動・運動の生理学的メカニズム
 - 1) 運動の神経支配と骨格筋の収縮
 - 2) 体位変化とバイタルサイン
 - 3) 同一体位と体圧
3. 基本的活動の援助
 - 1) 基本的活動の基礎知識
 - (1) よい姿勢
 - (2) 日常生活動作
 - (3) ボディメカニクス
 - (4) 体位の種類

2) 援助の実際

- (1) 援助の基礎知識
- (2) 体位変換
- (3) 移動
- (4) 移乗・移送
車椅子、ストレッチャー
4. 休息・睡眠の生理学的メカニズム
 - 1) 睡眠の種類
 - 2) 睡眠制御のメカニズム
5. 休息・睡眠の援助の実際
 - 1) 睡眠障害のアセスメント
 - 2) 援助方法の選択

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ (医学書院)
看護技術プラクティス (学研)

参考図書

授業時 提示

評価方法

客観式テスト (30点)
試験時間は時間数に含む。

領域	専門分野 I	授業科目	基礎看護技術Ⅱ－1	単位 (授業時間/時間数)	1 (18/30)
開講年次	1年次	開講時期	前期	授業回数	9回
担当講師名	専任教員		講師所属	福岡水巻看護助産学校	
特記事項	実務経験のある教員による科目			臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ臨床に即した授業・演習を行なう	

授業のねらい

人と環境は密接な関係にあり、生活環境の適・不適は、健康の保持・増進や療養環境に大きな影響を与える。環境には、自然そのものと人為的なものがあるが、これらは人間の身体的・精神的な発育や健康状態だけでなく、知的、道徳的、社会的側面などの生活の全てに影響を及ぼす。看護場面において、患者の療養生活の場は、治療・看護を受ける場であるとともに、食事や状況に応じて排泄をするなどの生活行動の場でもある。そのため、療養生活の場が快適な場であるように環境を整えるための知識・技術を学んで欲しい。

授業目標

1. 生活環境と健康に関する看護の意義について学ぶことができる
2. 生活環境と健康に関する基礎知識を学ぶことができる
3. 快適な療養環境を整える技術を習得することができる

授業概要

1. 生活環境と健康に関する看護の意義
2. 生活環境と健康に関する基礎知識
 - 1) 病棟の構造
 - 2) 病室内構造の構成要素
3. 環境調整のための援助の実際
 - 1) ベッド周囲と病床の環境整備
 - 2) ベッドメイキング

授業の進め方

講義、演習

教科書

系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ (医学書院)
看護技術プラクティス (学研)

参考図書

評価方法

終講時 客観式テスト＋演習取り組み状況 (70点)
試験時間は時間数に含む。